

「親孝行市場」にフォーカスした新商品・サービス提案企業が続々参入

「オヤノコト.エキスポ 2012」開催

35～50歳代の子どもが「親のこと」「家族のこと」について考える消費者参加型イベント

石破茂氏(衆議院議員)、富士真奈美さん(女優)親子による特別講演や、親子の絆を再発見するワークショップも

開催日時:2012年7月14日(土)・15日(日) AM10:00～PM5:00/場所:東京国際フォーラム/入場料無料

オヤノコト.エキスポ開催委員会(事務局:株式会社オヤノコトネット[東京都中央区京橋])では、「そろそろ親のこと・・・」が気になりはじめる、35～50歳代の子ども世代(「オヤノコト®」世代※1)を対象に、家族の絆を見つめなおし、これからの人生をいかに安全で快適に過ごすかについて考え、学ぶ生活密着型イベント「オヤノコト.エキスポ2012」を、2012年7月14日(土)、15日(日)の2日間、東京国際フォーラムで開催します。

※1.「オヤノコト®」世代: 高齢の親を持つ35歳から59歳の子ども世代のことを指す、株式会社オヤノコトネットの造語

■ 超高齢社会の本格到来に向けて、新規企業が「オヤノコト.エキスポ」に続々出展

高齢の親が必要とするモノやサービスを自分達の手で探すのは大変なことです。そこで子どもが親に代わって必要な情報を集めることにより、親子のコミュニケーションを深め、お互いの生活をより快適にするきっかけを提供することが、「オヤノコト.エキスポ」の一貫したテーマです。今年は、本テーマのコンセプトに合致する約70社の企業を厳選。

イトーヨーカ堂や東京ガス、ダイキン工業など、ユニバーサルで親孝行な新商品および新サービスを「オヤノコト.エキスポ」で提案する企業が続々参入しています。

「家」「日々の暮らし・カラダ」「介護」「楽しむ」「お金」「備え」の各ゾーンでは、親世代のユーザビリティに配慮した2世帯住宅や、見守りサービス、お出かけしたくなる優れたデザイン性と脱着性を備えた洋服のほか、家電や電動アシスト自転車、介護施設など、生活スタイルや人生の転機が訪れた際に必要となる情報をご覧いただけます。

■ 衆議院議員の石破茂氏、女優の富士真奈美・岩崎リズ親子による

「親子の絆・コミュニケーション」をテーマにした講演や、親子と一緒に学ぶワークショップも

特設ステージでは、衆議院議員の石破茂氏、女優の富士真奈美さん親子や、健康、介護、病気など、幅広いジャンルの専門家を迎え、「オヤノコト®」世代が必要とする多彩なテーマの特別講演やセミナーを予定しています。

また、場内のワークショップゾーンでは、「親子de学び舎」と題して、カラダをつくる正しい歩き方や、おいしいコーヒーの淹れ方、プロカメラマンに学ぶカメラ講座、オトナの塗り絵教室のほか、漢方スタイルのハンド・ケアマッサージなど、親子のコミュニケーションを深め、「新たな何か」を見つけていただくための参加型企画を今回初めてご用意。親子の絆を深め、これからの超高齢社会を乗り越えるための情報収集・体験・相談が一堂にできる2日間となっています。



石破茂氏

■ 財界・官界の有識者も「オヤノコト.エキスポ」を応援

日本アイ・ビー・エム(株)の名誉相談役である椎名武雄氏や、俳優の津川雅彦氏、経済産業省および厚生労働省の元事務次官など、「オヤノコト.エキスポ」の趣旨に賛同いただいた有識者による諮問委員会が今年設立。高齢の親とその子ども世代の絆の再構築および親孝行市場の活性化に取り組む「オヤノコト.エキスポ」をサポートいただいております。



椎名武雄氏
(諮問委員会 委員長)

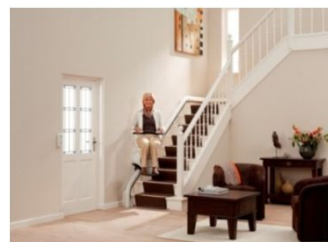


津川雅彦氏
(諮問委員会 委員)

「オヤノコト.エキスポ2012」出展企業(商品・サービス) 一覧

No.	出展企業	商品・サービス	No.	出展企業	商品・サービス
あ行	株式会社アイエム	葬儀各種相談	た行	ダイキン工業株式会社	らくらくエアコン
	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	民間介護保険		ティッセングループ・アクセス・ジャパン株式会社	階段昇降機
	株式会社青芳製作所	使いやすい調理器具・食器		東京ガス株式会社	安全設計でエコな最新コンロ
	■アサヒグループホールディングス株式会社 (アサヒフードアンドヘルスケア株式会社/和光堂株式会社/天野実業株式会社)	・シニア向けの食品、サプリメントほか		独立行政法人 都市再生機構	UR賃貸住宅
	『安心石材店の会』(いずみ産業株式会社)	墓石		トヨタ自動車株式会社	乗り降りしやすいウルマ
	■イトーヨーカドー あんしんサポートショップ (株式会社犬印本舗/王子ネピア株式会社/キューピー株式会社/株式会社光洋/大王製紙株式会社/徳武産業株式会社/日清オイログループ株式会社/日本製紙クレシア株式会社/白十字株式会社/株式会社明治/モリト株式会社/和光堂株式会社)	・ユニバーサルデザインフード、杖、紙おむつほか	な行	日産自動車株式会社	UDタクシー(乗り降りのしやすさ、使いやすさを追求)
	■NSGグループ (医療法人愛広会、社会福祉法人愛宕福祉会、社会福祉法人上越あたご福祉会、株式会社はあとふるあたご、株式会社ベスト・ケア)	介護・福祉・医療ネットワーク(遠距離介護をサポート)		日進医療器株式会社	使い心地を追求した車いす
	NTT西日本	コミュニケーション端末(パソコン画面と別の場所にあるテレビ画面を共有)		日本航空株式会社	快適な旅(リクライニングシート)
	OAG税理士法人	相続に関する相談		パラマウントベッド株式会社	介護ベッド
	花王株式会社	紙パンツほか		バルシステム生活協同組合連合会	安全食材の宅配サービス
か行	花王株式会社(キュレル)	スキンケアシリーズ	は行	フランスベッド株式会社	電動アシスト三輪自転車ほか
	■関西シニア向け分譲マンション (ウイズフィール京都山科/ユニエス南千里丘/エルグレース神戸三宮)	シニア向け分譲マンション		弁護士法人 ベリーベスト法律事務所	相続相談ほか
	株式会社木下の介護	シニア向けレジデンス		マックス株式会社	安全設計の4輪自転車
	クマリフト株式会社	階段昇降機	■ミサワホームグループ (ミサワホーム株式会社/ミサワホーム東京株式会社/ミサワホームイング株式会社/株式会社マザラス)	住宅リフォームほか	
	小型補聴器専門店 ヒヤリングストア	補聴器	三井不動産リフォーム株式会社	住宅リフォーム	
	株式会社シーボン	無料肌チェックほか	三井ホーム株式会社	二世帯住宅	
さ行	シーメンスヒヤリングインスツルメンツ株式会社	新型補聴器	ま行	メディカルスキャニング	健診相談(検査・診断専門クリニック)
	新光産業株式会社	耐震ベッド		株式会社ヤマシタコーポレーション	福祉用具展示・相談コーナー
	有限会社スタジオテック	家族での写真撮影		株式会社リエイ	快適な生活サービス提案
	積水化学工業株式会社	新築住宅		株式会社リラ・ヴォーグ	脱ぎ着しやすい夏服
	セントラル警備保障株式会社	緊急通報システム	や・ら行		
	ソニー生命保険株式会社	ライフプランニング(資金準備)			

※2012.6.21現在



➤ 「オヤノコト.エキスポ2012」セミナー開催一覧

7月14日(土)	ミニステージ(会場内)	セミナールーム
10:30~11:30	【特別講演】 タイトル:「今、みんなで考えよう。親子の絆、社会の絆」 講師:石破茂氏(衆議院議員)	/
12:00~13:00	タイトル:「認知症介護と家族ケア」 講師:服部安子氏 (社会福祉法人浴風会 ケアスクール校長)	
13:30~14:30	タイトル:「リフォームで考える安心・快適な“親の住まい”」 講師:西田恭子氏 (三井のリフォーム住生活研究所 所長)	
15:00~16:00	タイトル:「終活相談会」 ・第一部:終活って何? ・第二部:あなただけの家族葬をする方法 講師:酒井久尚氏(株式会社アイエム 厚生労働省認定1級葬祭ディレクター)	
7月15日(日)	ミニステージ(会場内)	セミナールーム
10:30~11:30	タイトル:「前向きな自然死の看取り」 講師:久坂部羊氏(医師・作家)	/
12:00~13:00	タイトル:「母と娘のコミュニケーションの秘訣」 講師:富士真奈美さん、岩崎りづさん親子(女優・タレント)	
	 	
13:30~14:30	タイトル:「親世代に多い肌トラブルとその対策」 主催:花王株式会社(キュレル) 講師:服部尚子氏(日本臨床皮膚科医会 常任理事、 なおこ皮膚科クリニック 院長)	
15:00~16:00	タイトル:「今からでも間に合うきこえのケア!」 講師:中川雅文氏(国際医療福祉大学病院 教授 〈耳鼻咽喉科〉)	タイトル:「弁護士発信の高齢者支援サービス “生涯ささえ隊”」 講師:酒井 将氏(ベリーベスト法律事務所 代表弁護士)
		タイトル:「カリスマ福祉用具専門相談員に話を聞く!」 主催:福祉用具専門相談員実カランキングテスト実行委員会

※定員:70名/参加無料/事前予約不要(直接会場へお越しください。)

※プログラム・内容・時間・講演者・会場等が予告なく変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。

➤ 「オヤノコト.エキスポ2012」ワークショップ(親子de学び舎)一覧

NO	ワークショップ	講師・協力会社
1	美しい姿勢を保てばいつまでも健康に! 簡単歩き方講座	谷 英子さん(ウォーキングインストラクター)
2	家族に淹れてあげたい! おいしいコーヒーの淹れ方教室	タリーズコーヒージャパン株式会社
3	カメラで始める『褒めコトバ』 ~みんなが好きになっちゃう親子写真術~	高島 秀吉さん(プロカメラマン)
4	大人の塗り絵教室 ~塗り絵で絵手紙を描きましょう~	株式会社ヌリナビ普及振興会
5	簡単! 漢方スタイル ハンド・ケア	小川 暢子さん(銀座おとな塾SANKEI GAKUEN)



その他、親子スマートフォン教室なども実施予定(講師:調整中)

「オヤノコト.エキスポ2012」開催概要

名称	オヤノコト.エキスポ2012
開催日時	2012年7月14日(土)・15日(日) AM10:00~PM5:00
場所	東京国際フォーラム 展示ホール(1) 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-5-1
入場料	無料
URL	http://www.oyanokoto.net/ ※「オヤノコト.エキスポ2012」の最新情報は、随時更新中 (2011年の動画も配信中)
出展内容	階段昇降機、高齢者住宅、新築・賃貸住宅、住宅リフォーム、コミュニケーション端末、安否確認システム、日常生活用品、家電、化粧品、排泄ケア用品、食べやすい食事、健康食品、ホームセキュリティ、旅行、使いやすい食器・調理器具、洋服、耐震ベッド、乗り降りしやすいクルマ、自転車、相続・保険、宅配サービス、補聴器、福祉用具レンタルサービス、歩行車、車いす、葬儀・墓石、写真撮影 など
主催	オヤノコト.エキスポ開催委員会 事務局:株式会社オヤノコトネット(東京都中央区京橋3-3-14 京橋AKビル4階)
後援	経済産業省、厚生労働省、地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター、 財団法人 対日貿易投資交流促進協会(ミプロ)、公益財団法人 共用品推進機構、 公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団、公益財団法人 テクノエイド協会、公益財団法人 東京都福祉保健財団、 社団法人 日本福祉用具供給協会、公益社団法人 日本フィランソロピー協会、 一般社団法人 全国福祉用具専門相談員協会、一般社団法人 日本自動車工業会、 日本福祉用具・生活支援用具協会(JASPA) (順不同)
特別協力	高齢社会NGO連携協議会(高連協)
オヤノコト.エキスポ 開催委員会	<委員長> 野田一夫:多摩大学 名誉学長、財団法人 日本総合研究所 会長、事業構想大学院大学 初代学長 <副委員長> 後藤芳一:日本福祉大学 客員教授(大阪大学 教授) <委員> 星川安之:公益財団法人 共用品推進機構 専務理事・事務局長 山内 繁:NPO支援技術開発機構 理事長 竜口隆三:西日本工業大学 デザイン学部 情報デザイン学科 学科長 安田勝紀:株式会社シルバー産業新聞社 代表取締役 編集長 河 幹夫:神奈川県立保健福祉大学 教授 (敬称略、順不同)
オヤノコト.エキスポ 諮問委員会	<委員長> 椎名武雄:日本アイ・ピー・エム株式会社 名誉相談役 <委員> 北畑隆生:元・経済産業事務次官、株式会社神戸製鋼所 取締役 津川雅彦:俳優、株式会社グランパパプロダクション 野田一夫:多摩大学 名誉学長、財団法人 日本総合研究所 会長、事業構想大学院大学 初代学長 福地茂雄:元・日本放送協会 会長、アサヒグループホールディングス株式会社 相談役 幸田正孝:元・厚生労働事務次官、一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 理事長 (敬称略、順不同)
※「オヤノコト」世代とは、高齢の親を持つ35歳から59歳の子ども世代のこと。株式会社オヤノコトネットの造語です。 ※「オヤノコト」「家族のコト」「そろそろ親のこと」「オヤノコトドットネット」「親孝行旅行」は株式会社オヤノコトネットの登録商標です。	

※2012.6.21現在

□ 株式会社オヤノコネット 代表 大澤 尚宏のメッセージ

「そろそろ親のこと・・・」をキーワードに、親子二世代の消費を喚起することを提唱した「オヤノコ.エキスポ」も今年で5回目の節目を迎えました。

さて、今や日本人の平均年齢は45歳を超え、総人口に占める65歳以上の人口割合は23.1%を占めるまでになりました。それにもかかわらず、抜本的な解決案が出されることもなく、これからの先行きに不透明感が漂っています。

そこで、当社では高齢世代を単体で捉えるのではなく、親子、家族という単位で考え、高齢期を迎えた親をもつ子世代(「オヤノコ®」世代=35歳~59歳)が、親の健康で安全な生活、さらには親孝行したいという潜在意識の顕在化を実現したいと考えてまいりました。そこには従来なかなか顕在化しなかった、古くて新しい市場が眠っているはずだからです。

「オヤノコ.エキスポ」は、過去のプロダクトアウト的な発想から抜け出し、人が幸せに、生きがいをもって生きていくことを真摯に応援したいと考える企業(サプライヤー)と生活者を結びつけるプラットフォームでありたいと考えています。

□ 株式会社オヤノコネット 会社概要

会社名	株式会社オヤノコネット
所在地	〒104-0031 東京都中央区京橋3-3-14 京橋AKビル4階
代表者	代表取締役 大澤尚宏
設立年月日	2009年11月2日
資本金	59,214,000円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■メディア事業 ・親のこと支援ポータルサイト「オヤノコ.net」の企画、運営、「オヤノコ.マガジン」の編集、発行 ■イベント事業 ・オヤノコ.エキスポの企画・運営、オヤノコセミナーやアトラクションの企画・運営 ■マーケティング事業 ・オヤノコ.net会員に向けたアンケートの実施・分析の受託、ウェブサイトの構築、デザインなど ・企業の新商品開発、販路開拓のためのマーケティング支援、パンフレット、カタログ、PR誌の制作など
関連会社	株式会社イント・コーポレーション

オヤノコ.エキスポ2012 ガイドブック特集号 発行

「40歳を過ぎたらオヤノコ！」をテーマに、働き盛りのビジネスマンや主婦ら、「オヤノコ」世代にとって気になる情報を集めたフリーペーパー「オヤノコ.マガジン」。最新号は、7月14日・15日に開催する「オヤノコ.エキスポ2012」のガイドブックです。エキスポ出展企業やセミナー情報もご覧いただけます。「オヤノコ」世代のスタッフが、自ら取材した「離れて暮らす親のこと」、「自分のパートナーとのこれからのこと」などに関する役に立つ商品・サービス情報や専門家によるアドバイスが満載です。

■発行部数:20万部

■配布場所:丸の内を中心とした都心部での街頭配布、全国のイトーヨーカドー あんしんサポートショップ、ららぽーと豊洲・船橋、都営地下鉄のラック、提携企業での配布、オヤノコ.net登録会員への発送 など



【一般の方からのお問合せ先】

オヤノコ.エキスポ開催委員会事務局
担当 馬場
TEL:03-6225-2733

URL:<http://www.oyanokoto.net/>

【報道関係からのお問合せ先】

株式会社ブレインズ・カンパニー 担当 越水、荒川
TEL:03-3496-1091 FAX:03-3496-2216
koshimizu@pjbc.co.jp

2007年の「シニア市場」から2012年「オヤノコト®」市場へシフト

第一次ブーム

2007年

● “不完全燃焼” に終わった、シニアビジネス

団塊世代の定年退職が始まる2007年を見据えたシニアビジネスへの動きは2005年頃から活発化。2007年以降より盛り上がっていきと見込まれ、団塊世代に標準を合わせた商品・サービスが多数登場

全世代で最も貯蓄率が高く、退職を迎えることによる豊富な時間の2要素を備えた**余裕あるリタイア世代の大量出現**という一括りにしたマーケット予測に基づくビジネス展開。また、2006年施行の「高齢者雇用安定法」による65歳までの雇用延長政策、年金未納問題に代表される社会保障制度に対する不信・不安などの社会的背景を見誤ったことにより、企業が期待したマーケットの成長に至らず

2008年

● 生活防衛意識のさらなる拡大

2008年に起こったリーマンショックによる急激な世界的景気後退や、日本における後期高齢者医療制度の施行に加え、2009年には、年金・医療・福祉などの社会保障給付費が約100兆円と過去最高に。健康問題や退職後の金銭問題などで不安を抱えるシニア世代の生活防衛意識が拡大、消費が低迷

2011年

● 東日本大震災の発生により、家族の定義 再構築へ

2011年3月11日に起こった東日本大震災により、個人主義的風潮が後退し、最も近くて遠い親子のコミュニケーションや、家族のあり方を見直す意識が向上するきっかけに

第二次ブーム

< 2012年「団塊世代」の本格退職 元年 >

35～50歳代の子ども世代と、70代以上の親世代が、共に自分ごととして生活を考える新市場（＝「オヤノコト®」市場）が萌芽

「オヤノコト®」市場とは、実際に商品やサービスを利用する「親」に対し、情報への第一アクセスおよび商品選び・購入の意思決定に大きく関わる「子ども世代」と深くリンクしています。「親のため、そして自分のため」という親と子ども、双方が情報共有し、自分らしく生きていくために必要な“安全・安心・快適”を追求した生活密着型の商品・サービスが創造される市場を指しています。

団塊世代の本格退職が始まる2012年、5年前の市場創造・攻略の失敗から学んだ様々な業種の企業が本市場に本格参入する萌芽が出てきています。マクロ視点の画一的な商品・サービス提案ではなく、“マイクロ市場の集合体”として市場のニーズに即した多様な提案を展開、この動きは今後さらに活発化が予想されます。

また「オヤノコト®」市場は、超高齢化が進行する我が国では有望市場のひとつであり、同じく高齢化が進むイタリアやドイツなどのヨーロッパ、中国、シンガポール、韓国などのアジアへの輸出産業としても可能性を秘めています。